

議員活動の目標（公約）

議員活動の自己評価

この「議員活動の目標（公約）」は、2年間の議員活動の指標とし、「議員の自己評価」の基礎資料に活用する。

評価期間:令和元年8月～令和3年7月

評価期間:令和元年8月～令和3年7月

所属委員会・役職名	在職年数	氏名	年齢
議会運営委員会副委員長 総務文教常任委員会委員長 産業厚生常任委員会委員	2	川崎 祐次郎	64

評価の分類:○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

項目	具体的な目標項目	評価		評価の結果となった具体的な理由
		取組みの評価	結果の評価	
1. 行政分野の取り組み	行財政計画の進捗状況を検証するとともに、町民に対し広く周知するよう求めている。	○	△	決算及び予算審議を通して行財政計画の進捗状況を検証したが十分ではなかった。引き続き具体的に検証精査が必要と感じた。
2. 財政分野の取り組み	自主財源の乏しい中であって、有利な地方債と基金の運用、国・県の交付金、補助金の確保等を注視し、健全な財政運営を町とともに目指したい。	○	△	地方債と基金残高等で財政状況の把握に努めたが具体的な提案等に至らなかった。健全な財政運営の在り方を検討したい。
3. 経済分野の取り組み	農業の所得向上、新たな森林環境税(仮称)による林業計画策定による地域資源の活用について検討したい。	△	▲	農業の所得向上、森林環境譲与税による林業振興に結び付く、具体的な取り組みにまで至らなかった。
4. 福祉分野の取り組み	子育て支援策としての病児・病後児保育の確立、健康長寿を基本とした介護保険事業計画の運営・改善に努めていきたい。	△	▲	子育て支援世帯との交流・協議が足りなかった。正確な現状の把握と改善策を勉強していきたい。
5. 教育分野の取り組み	情報通信技術の活用等による学習向上策を子育て世帯の保護者とともに検討していきたい。	○	△	令和3年は、教育現場に情報通信技術が個別に導入された初めて年となった。学校だけでなく家庭学習においても利活用できる環境づくりに努めたい。
6. その他の取り組み	第三セクターのあり方の再検討を検討し、適正な財政運営に資するよう努めたい。	△	▲	第三セクターのあり方と財政運営との関係を精査出来なかった。改めて第三セクターの経営の在り方の検証に努めたい。